

た。思い出に残るのは、石川県の震災被災地（能登、珠洲、輪島など）で、地元の人々のために栄養価の高い新鮮な様々な食品を調理・配布し、彼らと交流し、素晴らしい経験をしました。こんな機会を与えてくださった熱田典子さんに感謝申し上げます。改めまして、皆様の変わらぬご支援に感謝申し上げます。



2. バッタライ ルビさんから

私はバッタライ ルビです。日本に来てもうすぐ3年になります。去年の3月に日本語学校を卒業して4月に栄養学校に入学しました。学校は嵐山にあり、とてもきれいなところですが、住んでいる八幡市からとても遠いです。学校は朝の9時から夜の4時半までです。

栄養学校の勉強は難しいですが実験と実習がたくさんあります。体力的に少し弱い私はすぐ風邪を引き困りました。たくさん栄養のある物を食べて頑張っています。

今は毎朝7時に家を出て学校は9時に着きます。電車は4回乗り換えます。日本語学校の時と同じように今の学校もとても楽しいです。クラスメイトもみんなとても優しいです。

今年は学校の2年生になりました。定期試験も頑張って合格しました。それは私の努力のためだと思います。栄養の勉強は難しいです、でも友達や先生に助けていただいています。その他 JAFS と Rotary club のボランティアにも参加しています。とても好きです。

4月から学校が始まります。これからの勉強ももっと難しくなるとは思いますががんばります。皆様、いつもサポートくださりありがとうございます。



3. タパマガール レジマさんから

私は、ネパール留学生タパマガール レジマです。最初の2年間は、日本語の学習に専念し、そのおかげで栄養士専門学校に進学することができました。この機会を与えてくださった支援者の皆様に深く感謝し、これまでの経過を報告します。

日本に来た当初、私の主な目標は、日本語と文化を学び、栄養学の勉強に備えることでした。現在、3年目を迎え、栄養学、メニュー計画、食品科学に焦点を当てています。私の目標は、有能な栄養士となり、健康的な生活やバランスの取れた食事について他の人々に教えることです。

栄養士のコースは、内容が難しく、先生方はとても親切で、私のプログラムへの適応をサポートしてくれました。現在学んでいる主な科目は、メニュー計画、学校給食の準備、解剖学、生化学、そして基本的な